

2022年度



環境経営レポート



対象期間：2022年4月～2023年3月



京都三菱自動車販売株式会社

(発行日：2023年6月1日)発行

環境経営方針

1. 基本理念

京都三菱自動車販売株式会社は、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、三菱自動車の販売・サービス(整備)を通じて、環境への負荷低減に自主的かつ継続的に改善を取り組むと共に、車の安全・安心を提供することに努力いたします。また、京都府や滋賀県の恵まれた自然環境を守りながら、地域企業市民として、積極的に地域社会の環境保全活動に取り組みます。

2. 行動基準

1) エネルギーの有効利用と二酸化炭素の削減

エネルギー(電気・自動車用燃料)の使用量の負荷チェックを行い、省エネルギーによる二酸化炭素の削減に努め、継続的な環境改善と環境管理の維持向上に取り組みます。

2) 廃棄物の適正処理

一般廃棄物・産業廃棄物の分別による再資源化(リサイクル)と廃棄物の抑制に務め、適正処理いたします。

3) 水使用量の削減

水使用量の負荷チェックを行い、節水による排水量の削減に努め、環境の負荷低減に継続的に取り組みます。

4) 環境に配慮した製品・サービスの販売

二酸化炭素の抑制や環境負荷の低減に、電気自動車・ハイブリッド車の販売と法定点検の推進普及活動及び整備済み車両の作業手直し撲滅活動を積極的に取り組みます。

5) 環境関連法令の遵守

コンプライアンス経営の理念に基づき、環境関連法令と当社が締結した各種契約を遵守します。

6) 環境マネジメントシステムによる効果的運用

環境改善目標を定め、環境マネジメントシステムによる効果的運用に努め、継続的改善を図ります。

7) 環境保全を通じ社会貢献活動

NPO法人等で実施される、ペットボトルキャップ回収の福祉活動に、全社員が積極的に参画します。

8) この環境経営方針を全従業員に周知し、環境に関する教育や啓発活動に努めます。



2010年 10月 1日(制定日)
2019年 6月 1日(改定日)
京都三菱自動車販売株式会社
代表取締役社長 小林 康

■事業活動の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
 京都三菱自動車販売株式会社 代表取締役社長 小林 康
- (2) 所在地
 京都三菱自動車販売株式会社 京都府京都市南区西九条菅田町15番地
 滋賀三菱自動車販売株式会社 滋賀県栗東市蜂屋963番地1
 株式会社ビーム 滋賀県犬上郡甲良町北落1257番地
- (3) 環境経営管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 営業本部長 樋口 正敏 TEL: 075-662-7611
 担当者 環境開発部 荻野 貴史 TEL: 075-662-7607
- (4) 事業内容
 (京都三菱・滋賀三菱)
 1.新車・中古車の販売 2.自動車の整備 3.部品・用品の販売 4.保険代理店業務
 (ビーム)
 1.三菱自動車の新車整備・用品取付 2.タイヤ倉庫業
- (5) 事業の規模 2022年4月～

	3社合計	京都三菱自動車	滋賀三菱自動車	ビーム
年間売上(百万円)	13,226	8,505	4,666	55
従業員(人)	491	328	147	16
店舗数	18	11	6	1
床面積 m ²	26,520	14,923	6,111	5,486

- (6) 事業年度 2022年4月～2023年3月

■認証・登録の対象組織 (2023年4月～)



京都三菱自動車販売株式会社

本社十条店 京都府京都市南区西九条菅田町15番地 TEL: 075-662-7611

第1営業

亀岡店 京都府亀岡市千代川町小林下戸30番地-6 TEL: 0771-22-5343
 舞鶴店 京都府舞鶴市京田丸山536番地 TEL: 0773-75-4160
 福知山店 京都府福知山市興430番地-1 TEL: 0773-20-1713

第2営業

北山店 京都府京都市北区紫竹東栗栖町16番地-1 TEL: 075-491-1132
 カドノ店 京都府京都市右京区西院東貝川町58番地 TEL: 075-315-2211
 乙訓店 京都府長岡京市友岡4丁目19番9号 TEL: 075-953-1195
 伏見店 京都府京都市伏見区横大路橋本20番地-2 TEL: 075-605-1555
 宇治槇島店 京都府宇治市槇島町石橋31番地 TEL: 0774-21-4106
 京田辺店 京都府京田辺市三山木中央八丁目1番地3 TEL: 0774-62-2684

滋賀三菱自動車販売株式会社



第1営業

本社栗東店	滋賀県栗東市蜂屋963番地1	TEL : 077-552-0371
大津店	滋賀県大津市相模町2番地-48	TEL : 077-522-8802
高島店	滋賀県高島市安曇川町青柳1770番地-1	TEL : 0740-32-1611

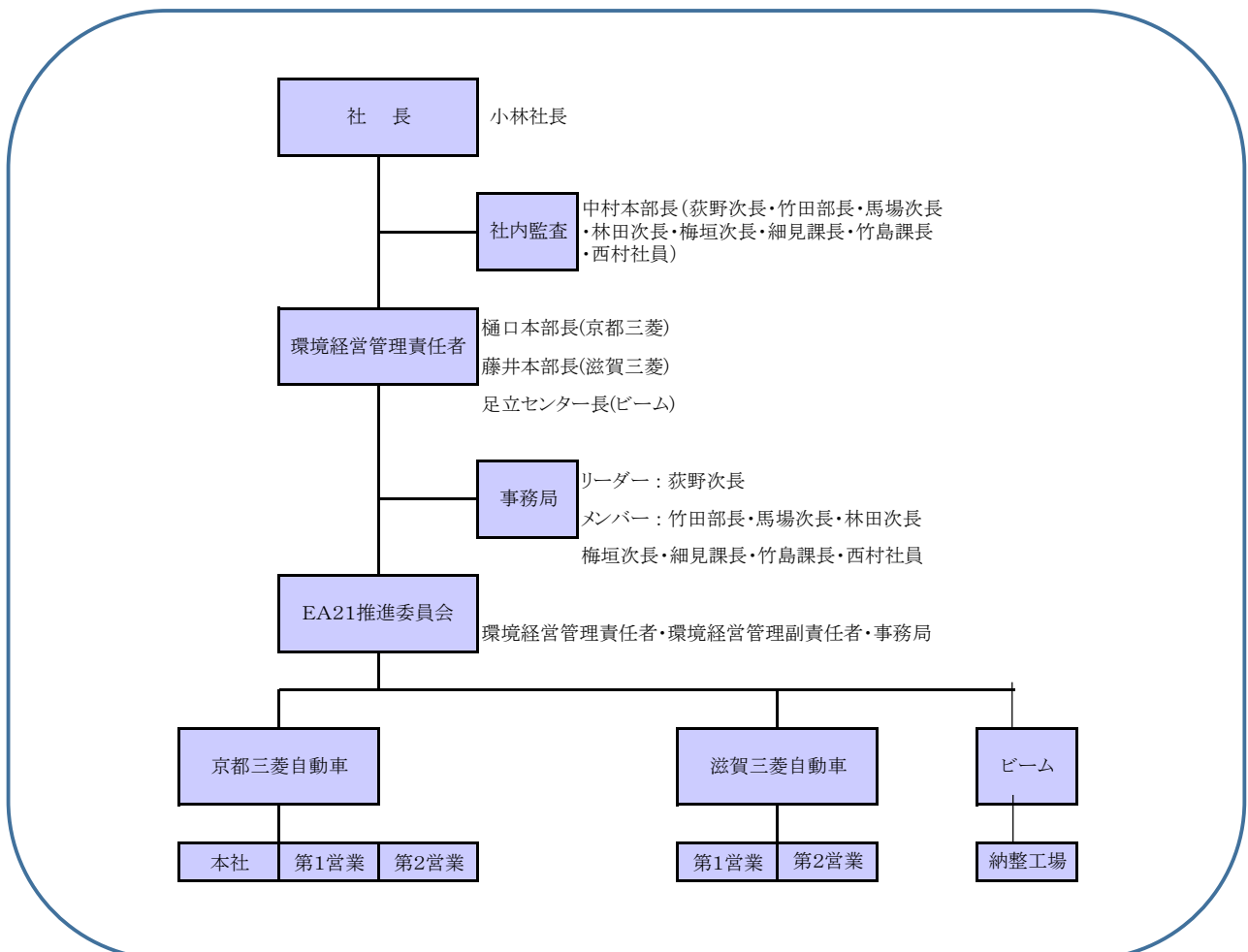
第2営業

水口店	滋賀県甲賀市水口町北泉2丁目33番	TEL : 0748-62-2345
近江八幡店	滋賀県近江八幡市馬淵町1679番地-1	TEL : 0748-37-4416
彦根店	滋賀県彦根市東沼波町180番地	TEL : 0749-22-4721

株式会社ビーム

滋賀県犬上郡甲良町北落1257番地 TEL : 0749-38-4670

■環境経営システム推進組織図



■主な環境負荷の実績(総負荷)

電力のCO2排出係数 0.389kg-CO2で算出(大阪ガスの調整後排出係数2017年度実績)
 (環境経営活動計画数値= 二酸化炭素排出量は電気(急速充電器含む)+燃料)
 (一般廃棄物は可燃ごみと再資源化物を含む、産業廃棄物は有価物も含む)

項目	単位	2010年 (導入時基準年度)	2020年	2021年 (基準年度)	2022年
二酸化炭素排出量	kg-CO2	2,311,867	1,266,884	1,146,162	1,139,904
電気使用量	kWh	2,532,919	1,755,060	1,625,658	1,644,869
ガソリン使用量	ℓ	468,619	170,175	132,018	124,874
廃棄物排出量	t	836.562	563.665	542.288	513.328
一般廃棄物排出量	t	114.199	62.445	47.829	48.116
産業廃棄物排出量	t	722.363	501.220	494.459	465.212
総排水量	m ³	22,353	16,790	15,508	14,531

■環境目標

電力のCO2排出係数 0.389kg-CO2で算出(大阪ガスの調整後排出係数2017年度実績)
 (環境経営活動計画数値= 二酸化炭素排出量は電気(急速充電器除く)+ガソリン燃料)
 (一般廃棄物は可燃ごみ、産業廃棄物は有価物を除く)

3社合計

項目	単位	2021年 (基準年度)	2022年		2023年		2024年	
			(21年基準)	削減率	(21年基準)	削減率	(21年基準)	削減率
二酸化炭素排出量	kg-CO2	1,022,824	1,016,965	-1%	1,016,965	-1%	1,016,965	-1%
電気使用量	kWh	1,506,137	1,491,076	-1%	1,491,076	-1%	1,491,076	-1%
ガソリン使用量	ℓ	124,911	124,911	0%	124,911	0%	124,911	0%
水道水使用量	m ³	14,975	14,825	-1%	14,825	-1%	14,825	-1%
一般廃棄物排出量	t	11.565	11.449	-1%	11.449	-1%	11.449	-1%
産業廃棄物排出量	t	146.271	144.808	-1%	144.808	-1%	144.808	-1%
法定点検台数	台	12,687	12,198	-	社内計画	-	社内計画	-
電気自動車の販売	台	375	876	-	社内計画	-	社内計画	-
ペットボトルキャップ回収量	kg	178.17	178.17	0%	178.17	0%	178.17	0%

京都三菱

電力のCO2排出係数 0.389kg-CO2で算出(大阪ガスの調整後排出係数2017年度実績)

項目	単位	2021年 (基準年度)	2022年		2023年		2024年	
			(21年基準)	削減率	(21年基準)	削減率	(21年基準)	削減率
二酸化炭素排出量	kg-CO2	678,398	674,476	-1%	674,476	-1%	674,476	-1%
電気使用量	kWh	1,008,138	998,057	-1%	998,057	-1%	998,057	-1%
ガソリン使用量	ℓ	79,172	79,172	0%	79,172	0%	79,172	0%
水道水使用量	m ³	10,333	10,230	-1%	10,230	-1%	10,230	-1%
一般廃棄物排出量	t	7.326	7.253	-1%	7.253	-1%	7.253	-1%
産業廃棄物排出量	t	90.155	89.253	-1%	89.253	-1%	89.253	-1%
法定点検台数	台	8,351	7,800	-	社内計画	-	社内計画	-
電気自動車の販売	台	282	558	-	社内計画	-	社内計画	-
ペットボトルキャップ回収量	kg	121.18	121.18	0%	121.18	0%	121.18	0%

滋賀三菱

電力のCO2排出係数 0.389kg-CO2で算出(大阪ガスの調整後排出係数2017年度実績)

項目	単位	2021年 (基準年度)	2022年		2023年		2024年	
			(21年基準)	削減率	(21年基準)	削減率	(21年基準)	削減率
二酸化炭素排出量	kg-CO2	320,989	319,252	-1%	319,252	-1%	319,252	-1%
電気使用量	kWh	446,533	442,068	-1%	442,068	-1%	442,068	-1%
ガソリン使用量	ℓ	45,540	45,540	0%	45,540	0%	45,540	0%
水道水使用量	m ³	4,206	4,164	-1%	4,164	-1%	4,164	-1%
一般廃棄物排出量	t	4.109	4.068	-1%	4.068	-1%	4.068	-1%
産業廃棄物排出量	t	53.906	53.367	-1%	53.367	-1%	53.367	-1%
法定点検台数	台	4,336	4,398	-	社内計画	-	社内計画	-
電気自動車の販売	台	93	318	-	社内計画	-	社内計画	-
ペットボトルキャップ回収量	kg	38.49	38.49	0%	38.49	0%	38.49	0%

ビーム

電力のCO2排出係数 0.418kg-CO2で算出(関西電力の調整後排出係数2017年度実績)

項目	単位	2021年 (基準年度)	2022年		2023年		2024年	
			(21年基準)	削減率	(21年基準)	削減率	(21年基準)	削減率
二酸化炭素排出量	kg-CO2	24,759	24,544	-1%	24,544	-1%	24,544	-1%
電気使用量	kWh	51,466	50,951	-1%	50,951	-1%	50,951	-1%
ガソリン使用量	ℓ	199	199	0%	199	0%	199	0%
水道水使用量	m ³	436	432	-1%	432	-1%	432	-1%
一般廃棄物排出量	t	0.130	0.129	-1%	0.129	-1%	0.129	-1%
産業廃棄物排出量	t	2.210	2.188	-1%	2.188	-1%	2.188	-1%
手直し作業の撲滅	h	5.0	15.0	-	社内計画	-	社内計画	-
ペットボトルキャップ回収量	kg	18.50	18.50	0%	18.50	0%	18.50	0%

■主要な環境経営活動計画の内容

取り組み項目	目標	実施項目
<p>電気使用量の削減</p>  	<p>【目標値】</p> <p>2022年度-1%(21年度比)</p> <p>2023年度-1%(21年度比)</p> <p>2024年度-1%(21年度比)</p>	<p>①クールビズの継続とウォームビズを導入実施</p> <p>②冷暖房の設定温度の管理徹底(温度表示シール貼付)</p> <p>③エアコン室内機のフィルター掃除をこまめにする</p> <p>④使用時以外の場所は消灯の徹底を図る</p> <p>⑤広告塔や屋外照明のタイマー設定時間の徹底を図る</p> <p>⑥照明機器のLED化を推進する</p> <p>⑦長期使用エアコンの更新</p>
<p>ガソリン使用量の削減</p>  	<p>【目標値】</p> <p>2022年度±0%(21年度比)</p> <p>2023年度±0%(21年度比)</p> <p>2024年度±0%(21年度比)</p>	<p>①社有車・セールスカーの定期点検を確実に実施する</p> <p>②従業員の運転はエコドライブを励行する</p> <p>③効率的な訪問活動に努める</p> <p>④運行管理簿による使用量の適正管理</p>
<p>水道水の削減</p> 	<p>【目標値】</p> <p>2022年度-1%(21年度比)</p> <p>2023年度-1%(21年度比)</p> <p>2024年度-1%(21年度比)</p>	<p>①洗車ホースに手元バルブを取り付け、不要な水を流さない</p> <p>②各蛇口に節水シールを貼付し、日常的に節水を励行する</p> <p>③社有車の過剰な洗車は行わない、洗車する場合は節水を励行</p> <p>④漏水の定期点検の実施</p>
<p>一般廃棄物の削減</p>  	<p>【目標値】</p> <p>2022年度-1%(21年度比)</p> <p>2023年度-1%(21年度比)</p> <p>2024年度-1%(21年度比)</p>	<p>①コピー用紙の使用量削減の徹底を図る</p> <p>②リサイクルゴミの分別整理の徹底により廃棄量の削減を図る</p> <p>③事務所ゴミ(一般)の排出量を管理し削減</p> <p>④販促品、カタログ類の適正数量発注</p> <p>⑤5S活動の実践(整理・整頓・清掃・清潔・躰)</p>
<p>産業廃棄物の削減</p>  	<p>【目標値】</p> <p>2022年度-1%(21年度比)</p> <p>2023年度-1%(21年度比)</p> <p>2024年度-1%(21年度比)</p>	<p>①リサイクルゴミの分別整理の徹底により廃棄量の削減を図る</p> <p>②事務所ゴミ(廃プラ)の排出量を管理し削減</p> <p>③5S活動の実践(整理・整頓・清掃・清潔・躰) (負荷の自己チェックシート焼却・処分を対象)</p>
<p>法定点検の台数</p> 	<p>【目標値】</p> <p>2022年度 12,198台</p>	<p>①法定点検の入庫促進(社内計画による)</p> <p>②ハーティプラスメンテナンス(メンテ18)販売による入庫確保</p> <p>③一般整備、板金修理入庫時に車両をチェック。 未実施ユーザーへの点検実施提案(廉価点検販売)</p>
<p>電気自動車の販売</p>   	<p>【目標値】</p> <p>2022年度 876台</p>	<p>①PHEV・電気自動車の販売促進</p> <p>②全社スタッフの商品知識の向上を図る</p> <p>③環境関連イベントへの参加</p> <p>④試乗会の開催</p>
<p>福祉貢献活動 (ペットボトルキャップ回収)</p> 	<p>【目標値】</p> <p>2022年度±0%(21年度比)</p> <p>2023年度±0%(21年度比)</p> <p>2024年度±0%(21年度比)</p>	<p>①ペットボトルキャップの回収</p> <p>②担当者による回収状況の発表</p> <p>③家庭で集めたキャップも回収</p> <p>④ペットボトルキャップで「ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」に寄付します</p>
<p>化学物質の取り扱いについて</p>	<p>-</p>	<p>PRTRに抵触するものがないので、目標の設定はしない</p>

■環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1. 2022年度の実績 (2022年4月～2023年3月 12ヶ月間)

3社合計

項目	単位	目標	実績	評価	削減/達成率
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,016,965	1,057,080	×	3.9%
電気使用量	kWh	1,491,076	1,558,998	×	4.6%
ガソリン使用量	ℓ	124,911	124,874	○	0.0%
水道水使用量	m ³	14,825	14,531	○	-2.0%
一般廃棄物排出量	t	11.449	10.619	○	-7.3%
産業廃棄物排出量	t	144.808	156.196	×	7.9%
法定点検台数	台	12,198	12,104	×	99.2%
電気自動車の販売	台	876	984	○	112.3%
ペットボトルキャップ回収量	kg	178.17	144.33	×	81.0%

電力のCO₂排出係数 0.389kg-CO₂で算出

(環境経営活動計画数値= 二酸化炭素排出量は電気(急速充電器除く)+ガソリン燃料)

(一般廃棄物は可燃ごみ、産業廃棄物は有価物を除く)

◆ 取組結果の評価、次年度の取組内容

1) 電気使用量 未達成 +4.6%

・各社節電の取り組みは定着しているが、一部の店舗を除き多くの店舗での微量増により目標を未達成となった。コロナ対策の換気や、電気自動車の充電回数増加が一因と考えられる。今後も換気の必要性も考慮しつつ、エアコンの設定温度管理や、こまめな消灯で節電の取り組みを継続する。
ほとんどの店舗で照明のLED化は完了している。

2) ガソリン使用量 達成 ±0.0%

・滋賀三菱は増加したが京都三菱・ビームは削減を達成し、3社合計としても目標達成となった。
今後もエコドライブの実践と効率的な運行管理やEV活用による、燃料使用量の削減活動を継続する。

3) 水道水使用量 達成 -2.0%

・水道使用量について節水意識は定着しており、3社合計で目標達成となった。
ビームでは漏水の為に前年を上回ったが、修繕しその後定期的に確認している。
今後も漏水のチェックをしつつ、節水の取り組みを継続する。

4) 一般廃棄物排出量 達成 -7.3%

・一般ごみの分別廃棄について、滋賀三菱が全体的に削減し、3社合計でも目標より7.3%減少して達成となった。
しかし、まだ、リサイクルできる紙の混入等が見られる店舗もあり、引き続き分別を徹底していく必要がある。

5) 産業廃棄物排出量 未達成 +7.9%

・産廃の分別が定着しているが3社合計としては未達成となった。イベント・清掃・市場措置作業の有無が排出量に大きく影響する。引き続き5S活動に伴う、整理・整頓及び分別、またプラスチック容器等の圧縮廃棄を行うとともに法律に基づき一層の排出量削減と使用量の削減に取り組む。

6) 法定点検の入庫促進 未達成 99.2%

・法定点検予約会を実施し、点検の必要性をアピール、メンテナンスパックを販売強化して入庫促進に努めているが目標未達成となった。今後も店舗の予約管理を徹底し、入庫促進活動を強化する。

7) 電気自動車の販売 達成 112.3%

・電気自動車販売目標は達成した。PHEVや軽の電気自動車の発売で、昨年度より販売台数は増加している。
今後も試乗車等でEVの特徴・商品性をアピールし、販売活動することにより増販を目指す。また電動ドライブステーションの活用を強化する。

8) 社会福祉貢献活動(ペットボトルキャップの回収) 未達成 81.0%

・ペットボトルキャップの回収活動は定着しているが今年度は目標未達成となった。
今後も活動を強化し継続する。



項目	単位	目標	実績	評価	削減/達成率
二酸化炭素排出量	kg-CO2	674,476	668,630	○	-0.9%
電気使用量	kWh	998,057	1,037,947	×	4.0%
ガソリン使用量	ℓ	79,172	69,772	○	-11.9%
水道水使用量	m ³	10,230	9,944	○	-2.8%
一般廃棄物排出量	t	7.253	7.541	×	4.0%
産業廃棄物排出量	t	89.253	96.800	×	8.5%
法定点検台数	台	7,800	7,748	×	99.3%
電気自動車の販売	台	558	609	○	109.1%
ペットボトルキャップ回収量	kg	121.18	72.86	×	60.1%

電力のCO2排出係数 0.389kg-CO2で算出(大阪ガスの調整後排出係数2017年度実績)
 (環境経営活動計画数値= 二酸化炭素排出量は電気(急速充電器除く)+ガソリン燃料)
 (一般廃棄物は可燃ごみ、産業廃棄物は有価物を除く)

◆ 取組結果の評価、次年度の取組内容

1) 電気使用量 **未達成 +4.0%**

・全社員が意識して節電の取り組みを実施しているが、目標は未達成となった。
 残業や気温等に大きく影響される項目ではあるが、こまめな消灯で節電の取り組みを継続する。

2) ガソリン使用量 **達成 -11.9%**

・各店舗、エコドライブの実践や運行管理を実施した結果、目標達成となった。
 更なる社有車EVの活用、エコドライブ実践等の取り組みを継続する。

3) 水道水使用量 **達成 -2.8%**

・節水意識が定着しており、総入庫量の減少も要因となり目標達成となった。
 入庫車両の洗車量や夏場の気温に影響されるが、今後も節水を継続する。

4) 一般廃棄物排出量 **未達成 +4.0%**

・一般ごみの分別廃棄は、全社員が意識して取り組んだが、結果は目標未達成となった。
 3Rの徹底により、削減取組を強化する。

5) 産業廃棄物排出量 **未達成 +8.5%**

・産業廃棄物は目標未達成となった。廃プラスチックの総量削減(潰して廃棄等)を強化する。
 本年度は店舗閉鎖、改修等により、廃棄物の量に影響が出たと思われる。

6) 法定点検の入庫促進 **未達成 99.3%**

・法定点検の必要性をアピールし入庫促進に努めている。入庫平準化の為に店舗の予約管理を徹底したが
 結果は目標を下回り未達成となった。入庫促進活動を強化継続する。

7) 電気自動車の販売 **達成 109.1%**

・社内目標達成した。市場のニーズ及び全社員が電動車両の特徴・商品性を理解(サービス部門テスト実施)等、
 販売活動することにより増販した。引き続き販売活動強化を実施する。

8) 社会福祉貢献活動(ペットボトルキャップの回収) **未達成 60.1%**

・キャップの回収について、目標は未達成となった。今後も回収活動を継続する。
 更に店舗の意識づけを推進していく。



項目	単位	目標	実績	評価	削減/達成率
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	319,252	367,794	×	15.2%
電気使用量	kWh	442,068	475,288	×	7.5%
ガソリン使用量	ℓ	45,540	55,072	×	20.9%
水道水使用量	m ³	4,164	4,033	○	-3.1%
一般廃棄物排出量	t	4.068	2.948	○	-27.5%
産業廃棄物排出量	t	53.367	57.876	×	8.4%
法定点検台数	台	4,398	4,356	×	99.0%
電気自動車の販売	台	318	375	○	117.9%
ペットボトルキャップ回収量	kg	38.49	52.97	○	137.6%

電力のCO₂排出係数 0.389kg-CO₂で算出(大阪ガスの調整後排出係数2017年度実績)
 (環境経営活動計画数値= 二酸化炭素排出量は電気(急速充電器除く)+ガソリン燃料)
 (一般廃棄物は可燃ごみ、産業廃棄物は有価物を除く)

◆ 取組結果の評価、次年度の取組内容

- 1) 電気使用量 **未達成 +7.5%**
 ・電力削減は目標未達成となった。夏の猛暑が影響しエアコン使用による増加が考えられる。
 10月以降は、ほぼ目標通り推移した。
- 2) ガソリン使用量 **未達成 +20.9%**
 ・ガソリン使用量は未達成となった。遅延していた新車納車増加が影響し、使用量も増加したと考えられる。
 23年度もエコ運転励行で節約意識を持って取り組みたい。
- 3) 水道水使用量 **達成 -3.1%**
 ・水道水量の削減は目標達成となった。
 引き続き、細やかな節水に取り組む。また漏水は毎月チェック強化する。
- 4) 一般廃棄物排出量 **達成 -27.5%**
 ・一般廃棄物は目標が達成となった。
 更に分別及び正しく計量を指導し、分別意識向上による目標達成を目指したい。
- 5) 産業廃棄物排出量 **未達成 +8.4%**
 ・産業廃棄物は目標未達成となった。23年度は再度分別に取り組みたい。
- 6) 法定点検の入庫促進 **未達成 99.0%**
 ・法定点検の必要性をアピールし入庫促進に努められたが目標は未達成となった。
 今後も、継続して法定点検の入庫促進に努める。
- 7) 電気自動車の販売 **達成 117.9%**
 ・電気自動車の販売目標は達成した。引き続き今後も試乗車等を活用して販売目標を達成したい。
 昨年度より販売台数は大幅に増加している
- 8) 社会福祉貢献活動(ペットボトルキャップの回収) **達成 137.6%**
 ・エコキャップの回収活動は定着しており、目標達成となった。
 今後も活動を強化し継続する。



項目	単位	目標	実績	評価	削減/達成率
二酸化炭素排出量	kg-CO2	24,544	21,983	○	-10.4%
電気使用量	kWh	50,951	45,763	○	-10.2%
ガソリン使用量	ℓ	199	30	○	-84.9%
水道水使用量	m ³	432	554	×	28.3%
一般廃棄物排出量	t	0.129	0.130	×	1.0%
産業廃棄物排出量	t	2.188	1.520	○	-30.5%
手直し作業の撲滅	h	15.0	11.0	○	-26.7%
ペットボトルキャップ回収量	kg	18.50	18.50	○	100.0%

電力のCO2排出係数 0.418kg-CO2で算出(関西電力の調整後排出係数2017年度実績)
 (環境経営活動計画数値= 二酸化炭素排出量は電気(急速充電器除く)+ガソリン燃料)
 (一般廃棄物は可燃ごみ、産業廃棄物は有価物を除く)

◆ 取組結果の評価、次年度の取組内容

- 1) 電気使用量 **達成 -10.2%**
 ・電気使用量の削減目標は達成した。不必要な照明は消灯に努め、前年を10%以上下回る実績となった。今後も継続して電力の削減に取り組む。
- 2) ガソリン使用量 **達成 -84.9%**
 ・ガソリン使用量削減の目標は達成した。社有車の使用は効率の良い稼働に努めており、前年を大幅に下回る実績となった。今後も使用の効率化を継続して、自動車燃料の削減に取り組む。
- 3) 水道水使用量 **未達成 +28.3%**
 ・水道使用量については一時漏水があり目標は未達成となったが、今後定期的なチェックと節水により削減を実施する。
- 4) 一般廃棄物排出量 **未達成 +1.0%**
 ・一般廃棄物は前年と同実績で未達成であった。引続き分別の強化による、より一層の分別廃棄の強化をすすめ、排出量の減量を目指し活動を継続する。
- 5) 産業廃棄物排出量 **達成 -30.5%**
 ・産業廃棄物は大幅に目標達成となった。引続き分別の強化によるリサイクル化を図ると共に廃プラの圧縮の実施、及び再生有価物化を進める。
- 6) 手直し作業撲滅 **達成 -26.7%**
 ・目標は達成した。今後も情報の共有による手直し作業の撲滅を目指し、お客様目線で作業をする。
- 7) 社会福祉貢献活動(ペットボトルキャップの回収) **達成 100.0%**
 ・ペットボトル回収の目標は達成した。会社内と家庭での回収の意識が高まっている。今後も全員でペットボトルキャップの回収活動を推進する。



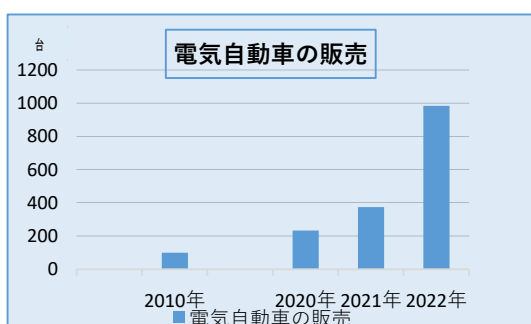
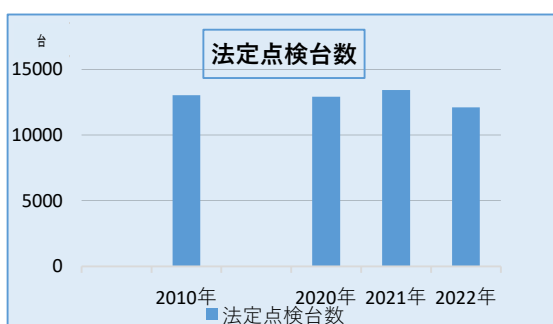
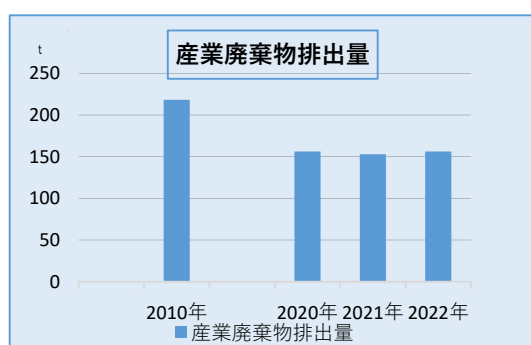
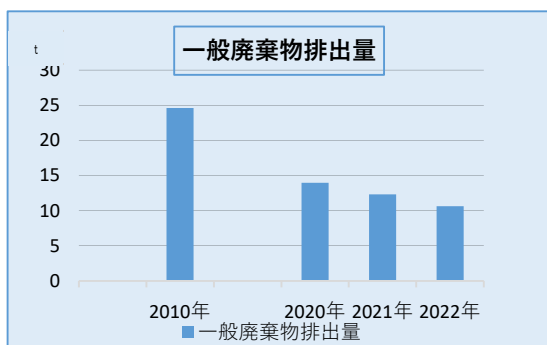
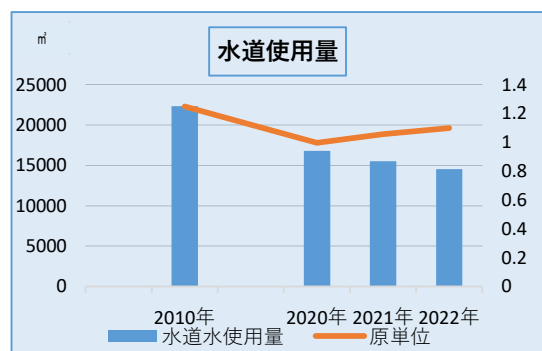
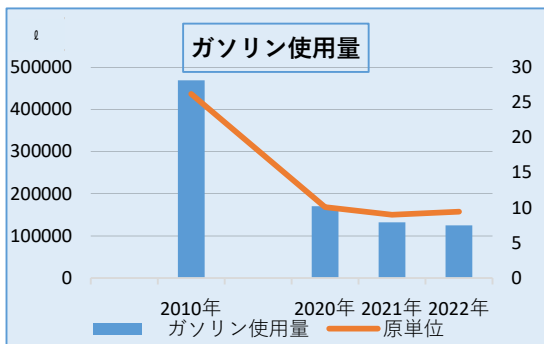
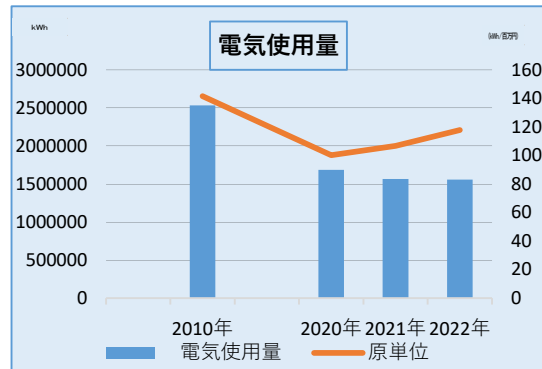
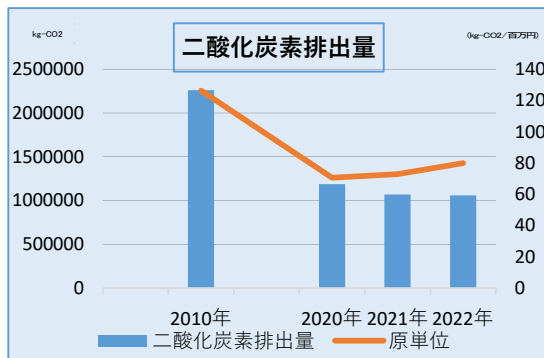
■エコアクション21取り組み以降の実績推移 全社分

電力のCO2排出係数 0.389kg-CO2で算出(大阪ガスの調整後排出係数2017年度実績)

(環境経営活動計画数値= 二酸化炭素排出量は電気(急速充電器除く)+自動車用燃料)

項目	単位	2010年 (導入時基準年度)	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素排出量	kg-CO2	2,258,512	1,188,251	1,068,286	1,057,080
電気使用量	kWh	2,532,949	1,687,139	1,566,559	1,558,998
ガソリン使用量	ℓ	468,619	170,175	132,018	124,874
水道水使用量	m ³	22,353	16,790	15,508	14,531
一般廃棄物排出量	t	24.627	13.984	12.300	10.619
産業廃棄物排出量	t	218.436	156.222	153.106	156.196
法定点検台数	台	13,034	12,918	13,428	12,104
電気自動車の販売	台	100	233	375	984
ペットボトルキャップ回収量	kg	89.00	155.31	195.42	144.33
年間売上	百万円	17,890	11,294	11,193	13,226

*原単位(折れ線グラフ): 年間売上高百万円当たりの使用量・排出量



1. 主な環境関連法規

適用される法規制	適用される事項(設備・物質・事業活動)	評価		
		京都	滋賀	ビーム
自動車リサイクル法	・使用済み自動車の引き取り ・フロン類回収 ・マニフェストによる移動報告	○	○	-
廃棄物処理法	・一般・産廃収集運搬業者との契約 ・廃棄物保管場所及び掲示板の設置 ・マニフェスト交付及び管理	○	○	○
騒音・振動規制法	・特定施設の届け出(圧縮機・送風機等) ・規制基準の遵守	○	○	○
下水道法	・特定施設の設置、使用届け出 ・下水への排水基準遵守	○	○	○
浄化槽法	・設置届け出と水質検査 ・処理基準の遵守(定期検査)	○	○	-
水質汚濁防止法	・自動式車両洗浄施設	○	○	-
消防法	・危険物保管指定数量以上の許可届け出 ・少量危険物取扱い届け出 ・貯蔵所や取扱所の基準遵守 ・火災報知機の設置	○	○	○
労働安全衛生法	・有機溶剤中毒予防規則への対応 ・特定業務健康診断 ・リスクアセスメントの義務付け	○ ○ ○	- - ○	- - ○
PCB廃棄物特別措置法	・毎年報告が必要 ・保管基準の遵守(本社十条店が該当)	○	-	-
フロン排出抑制法	・業務用エアコンの簡易点検 ・7.5kW以上のエアコンの定期点検(3年毎)	○	○	○
京都府環境を守り育てる条例	・塗装・乾燥設備	○	-	-

2. 違反・訴訟の有無

・環境関連法規制等の遵守状況に違反はなく、また訴訟や環境関係当局からも、過去3年環境関連法及び条例等の違反の指摘等はありません。

■代表者による全体の評価と見直し・指示

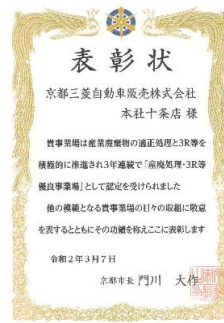
<p>1. 環境経営活動の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営活動は電気使用量、廃棄物、水道使用量の項目を前年比99%目標(自動車燃料は前年同数値)として取組んだ。排出量はEA21取組当初より大きく改善しているが、意識や努力による排出量の削減は下限に近づいている感がある。 ・電気使用量が全社的に増加している。コロナ対策の換気や残業の増加、電気自動車の充電増加が一因と考える。 ・一般廃棄物の排出量は減少しているが、産業廃棄物については増加している。イベント・清掃・市場措置作業の有無が廃棄物量に影響する。 ・電気自動車販売計画は目標達成した。PHEVや軽電気自動車の発売により昨年度より販売台数は増加している。 <p>2. 環境経営方針・目標等の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度については前年度を基準年とし、基準年比99%を目標とする。 ・環境経営方針は現状で問題が無い為変更しない。 <p>3. 今後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者や担当者に対する、環境保全活動に関する社内専門教育を強化する。 ・EA21事務局の業務デジタル化通達を受け、当社も記録用紙等をペーパーレス化し活動を継続する。 ・今後も照明のLED化未実施店舗の照明器具を計画的にLED照明へ更新し、CO2排出量の削減を行うとともに長期視点での経費削減を図る。 ・法令遵守は、会社方針の最重要項目の一つである、又、各市町村により違う条例についても内容や改正点を確認し、法令違反や条例違反が発生しないよう指導・監督を継続する。
--

■その他の取組

◇京都市 ごみ減量・3R優良事業所 永年認定
(平成28年)



◇京都市 産廃処理・3R等優良事業所 認定
(令和2年)



◇古切手回収(福祉活動)



日本郵便文化振興機構へ寄贈
社)京都モデルフォレスト協会に寄付
京都の森林を守り育てる活動に役立ちます

◇ペットボトルキャップ回収(福祉活動)



'23年度 約 62,049個回収
活動開始より 約 889,036個回収

◇ごみ分別容器(ごみ箱)の色分け表示の統一



◇油漏洩緊急対策キット全店配備



◇滋賀県が推進する「美知メセナ活動」に参加し
道路のごみ拾い、除草作業などの清掃活動
を行っています。(本社栗東店)



◇照明器具LED化工事(事務所)

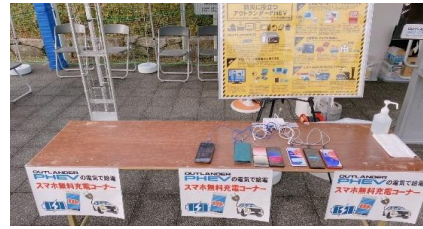


■次世代自動車・電動自動車の普及啓発

◇全国女子駅伝のタイマー車として電気自動車
(アウトランダーPHEV)を貸し出しました



◇携帯の無料充電体験
アウトランダーPHEVによる充電



◇ショッピングセンターでの展示



◇本社十条店・本社栗東店に電動ドライブステーションを設置してPHEV車の利便性をアピール

電動 DRIVE STATION

本社十条店は、「電動 DRIVE STATION」本社十条店として電動車両の意義であるエネルギーソースの多様性と、外部給電機能がもたらす価値を具現化した店舗へと生まれ変わりました。



太陽光発電とV2H機器
ならびに既存の電送網の
組み合わせの中で
“電動車両”のある暮らし
をデモ体験していただ
けます。



エネルギーの
多様性を
具現化

※電動ドライブステーションの詳細についてはこちらをご覧ください。

◎ライフスタイルコーナー

停電時等にPHEVを接続すると家電がどれだけ使用できるかを
体感できるコーナー(最大1500Wの出力)



◎太陽光パネル設置

太陽光パネルを16台設置してライフスタイルコーナーの
電気を供給する



*電動 DRIVE STATIONは、電動車両(EV・PHEV)の意義であるエネルギーソースの多様性と、外部給電機能がもたらす災害時の価値を具現化した店舗です。

■地域・社会への取り組み

子供110番の家



全店にAEDを配置しております



献血サポーターに参加しています



■災害時協力協定締結の取り組み

当社では、京都府・京都市・城陽市・福知山市・湖南市・長岡京市に続き、滋賀県(三日月大造知事)、三菱自動車工業株式会社との間において災害時協力協定を、2022年10月31日(月)に締結致しました。(7例目 となります)
(2022年10月31日現在、全国では212の自治体と締結)



滋賀県協定締結式

DENDOコミュニティサポートプログラムに基づく災害支援

災害時の活動

①貸出先の確認、電動車両の確保

自治体からの要請に基づき、三菱自動車・販売会社と自治体の三者で連絡を取り合い、貸出先を確認、貸出可能な電動車両を確保します



②PHEVの搬入・使い方の説明

三菱自動車・販売会社が、自治体に指定された場所にPHEVを搬入し、車両の使い方について説明します



③電力の供給による支援

避難場所等における電源確保に、PHEVをお役立ていただきます。

(携帯電話の充電、電気製品への電力供給など)



◇京都府・京都市の防災訓練に参加



アウトランダーPHEVによる給電デモ(精華町)



アウトランダーPHEVと防災啓発(京都市)



経営理念

創造はわが社の力なり
誠実はわが社の心なり
奉仕はわが社の願なり

京都三菱自動車販売株式会社